

「情報公開文書」

複数施設研究用

研究課題名：

患者由来異種移植モデルマウスを用いた腫瘍血管制御分子の in vivo 検討

1. 研究の対象

2009 年 1 月～2017 年 9 月に当院で肺癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

人体に投与された抗癌剤は、腫瘍血管を通して腫瘍細胞に到達し効果を発揮する。腫瘍血管の構築はしばしば脆弱・不完全であり、このことが抗癌剤の腫瘍へ到達する効率を低下させる。従って、この不完全な腫瘍血管を再構築することができれば、腫瘍組織全体に十分な抗癌剤を到達させることが可能になる。本研究では、腫瘍血管の形成・維持に関する分子 LPA4 の発現を患者由来異種移植モデルマウス（PDX）を用いて解析しする。最終的には、これを制御することでより効果的な抗癌剤治療法の確立を目指す。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：腫瘍細胞等

4. 外部への試料・情報の提供

ホルマリンあるいは凍結により固定された腫瘍細胞を、外部研究機関に送付します。腫瘍細胞に伴う個人を特定可能な情報は外部に提供されません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

宮城県立がんセンター 玉井恵一

田辺三菱製薬株式会社 三木秀夫

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 2

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 村尾知彦
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 973)

研究責任者：

宮城県立がんセンター研究所がん幹細胞研究部 玉井恵一

研究代表者：

宮城県立がんセンター研究所がん幹細胞研究部 玉井恵一